

◆ 薬価基準未収載医薬品 (3月販売開始)

承認日	薬効分類名	商品名	会社名	成分名	効能・効果	用法・用量等	備考	RMP(3/15現在)
2023/3/27	ワクチン・トキソイド混合製剤	ゴービック水性懸濁注シリンジ	製造販売元／ (一財)阪大微生物病研究会 販売元／ 田辺三菱製薬 プロモーション提携／ファイザー	百日せき菌の防御抗原 ジフテリアトキソイド 破傷風トキソイド 不活化ポリオウイルス1型 (Sabin株) 不活化ポリオウイルス2型 (Sabin株) 不活化ポリオウイルス3型 (Sabin株) インフルエンザ菌b型オリゴ糖-CRM ₁₉₇ 結合体	百日せき、ジフテリア、破傷風、急性灰白髄炎及びインフルエンザ菌b型による感染症の予防	初回免疫：小児に通常、1回0.5mLずつを3回、いずれも20日以上の間隔をおいて皮下又は筋肉内に接種する。 追加免疫：小児に通常、初回免疫後6か月以上の間隔をおいて、0.5mLを1回皮下又は筋肉内に接種する。	・本剤は、既存の4種混合ワクチン『テトラビック皮下注シリンジ』(百日せき、ジフテリア、破傷風、不活化ポリオ混合ワクチン)とインフルエンザ菌b型ワクチンの有効成分を混合した5種混合ワクチン。 ・本剤の使用により、必要な定期接種ワクチンの総接種回数が削減できる。 ・本剤はプレフィルドシリンジ製剤である。	https://www.pmda.go.jp/RMP/www/630144/c573a883-d67c-4e3c-a8d1-4ec9fc52d78d/630144_636140FG1020_001RMP.pdf
2023/9/25	ワクチン・トキソイド混合製剤	クイントバック水性懸濁注射用	製造販売元／ KMバイオロジクス 販売元／Meiji Seika ファルマ	百日せき菌防御抗原 ジフテリアトキソイド 破傷風トキソイド 不活化ポリオウイルス1型(Sabin株) 不活化ポリオウイルス2型(Sabin株) 不活化ポリオウイルス3型(Sabin株) 破傷風トキソイド結合インフルエンザ菌b型多糖	百日せき、ジフテリア、破傷風、急性灰白髄炎及びインフルエンザ菌b型による感染症の予防	バイアル製剤をシリンジ製剤の全量で溶解し、以下のとおり使用する。 初回免疫：小児に通常、1回0.5mLずつを3回、いずれも20日以上の間隔をおいて皮下又は筋肉内に接種する。 追加免疫：小児に通常、初回免疫後6か月以上の間隔をおいて、0.5mLを1回皮下又は筋肉内に接種する。	・本剤は、既存の4種混合ワクチン『クイントバック皮下注シリンジ』(百日せき、ジフテリア、破傷風、不活化ポリオ混合ワクチン)に、ヘモフィルスインフルエンザ菌b型(Hib)の抗原成分を加えた5種混合ワクチン。 ・5種混合ワクチンは、2024年4月から定期接種導入予定であり、本剤により、小児期における同種のワクチン接種回数が従来の8回から4回に削減される。	https://www.pmda.go.jp/RMP/www/261976/81b22d1d-5096-445c-a234-83b077ba9f1d/261976_636140FG2027_001RMP.pdf